

南部高等学校

実施日時	下記詳細参照
参加者	全校生徒
実施内容	下記詳細参照

実施日時、実施内容、主なプログラム

1 避難訓練

- (1) 実施日 平成30年4月20日(金)
- (2) 参加者 全校生徒
- (3) 内容 新入生研修の一環として、いち早く避難経路及び避難場所を確認する必要があるとともに、2・3年生においても指定避難場所まで避難訓練を行った。

2 心肺蘇生法

(1) 実施日【クラスごとに3時間で実施】

- ① 平成30年7月17日(木)
- ② 平成30年7月18日(金)
- ③ 平成30年12月18日(火)
- ④ 平成30年12月19日(水)
- ⑤ 平成30年12月20日(木)
- ⑥ 平成31年3月14日(木) 予定
- ⑦ 平成31年3月15日(金) 予定

(2) 参加者

- ① 普通科2年A組 生徒37名
- ② 普通科2年B組 生徒36名
- ③ 普通科2年C組 生徒36名
- ④ 食と農園科2年S①組 生徒28名
- ⑤ 食と農園科2年S②組 生徒28名
- ⑥ 食と農園科2年S③組 生徒26名(予定)
- ⑦ 食と農園科2年S④組 生徒26名(予定)

(3) 内容

日高広域消防による普通救命講習初級Ⅰを受講する。生命を救うために必要な救命手当である心肺蘇生法、特にAEDの使用方法について体験的に学んだ。



3 県地震・津波避難訓練及び防災講座

- (1) 実施日 平成30年11月1日(木) 10:00~
- (2) 参加者 全校生徒599名、教職員55名

(3) 内容

開始	内容	場所	備考
10:00	情報伝達訓練	HR教室	・緊急地震速報(訓練報)を受信
	シェイクアウト(地震の際の安全確保行動)訓練	HR教室	・ドアの開放 ・まず低く、頭を守り、動かない
10:03	津波避難訓練	避難経路 →猪野山	・便宜上、教室は施錠 ・クラス毎整列し、集合後点呼
10:30	講評	猪野山	・終了後、学校へ
11:15	防災講座(DVD視聴)	新体育館	「津波に備える」 津波避難に関する解説
12:30	感想記入・総括	HR教室	

参加者感想文

津波や地震が起こる仕組みが分からなかったので、このDVDを見て分かったのが良かったです。

津波が一度だけ来るのではなく、何度も押し寄せることを知ってびっくりしました。このDVDを見ていなかったら、実際に避難したとき1回目の津波が来て家に戻っていたと思います。

本当に起こったら、地域の人も連れて避難したいと思います。



成果と課題

学校周辺の地域の方々とも、津波避難に関する対応や情報共有をする機会が増えている。また、本校の校舎が一次避難場所に指定されていることもあり、みなべ町及び区とも連携しながら備品確認や、地域住民の方に校舎を開放しての避難訓練を実施している。このことは地域も学校も防災に対する意識が高まっていると捉えている。地域とのつながりを考えて、きのくにコミュニティスクールとして、地域ぐるみで防災について考えることも、一つの取組であると考えている。

また、本校は、津波避難経路にJR線をくぐる地下道を指定しているが、ここでの転倒や人の殺到によりパニックに陥ることが予想され、危険視しているところである。ただし、迂回するなどすると時間がかかること等、避難経路に課題があるのも事実である。今後は、課題解決に向けて、生徒の安全を確保するための方策や、複数の避難経路を試すなどして、検討する必要がある。

ここ数年AED講習及び津波避難訓練とセットにした防災講座を実施しているが、生徒の関心も高まり、防災意識の向上に役立っていると感じている。ただし、学校行事の都合上、1日開催の防災スクールの実施には至っていない。地域の方々とも連携した防災スクールの視野に入れて、今後も検討したい。